

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	芋煮会や夏祭りなど地域の行事に招待され、地域住民と交流を図っている。散歩時には挨拶を交わし、野菜や花など差し入れてくれる方がいる。また、近隣の喫茶店やスーパーを利用することで、馴染みの関係ができています。ホーム主催の夏祭りには家族や地域の方など参加し、入居者の作ったおにぎりやのり巻など食べ楽しい時を過ごした。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	区長、民生委員、地域包括支援センター職員、入居者代表、家族代表、管理者、計画作成担当者、フロア長が参加して、2カ月に1回開催している。会議ではホームがどんな所か知ってもらう為に、入居者の状況や活動報告、ホームでの避難訓練の見学などを行い、メンバーから情報や助言を得てサービスの向上に活かしている。議事録は玄関に置きいつでも閲覧することができる。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	市役所には月に1回書類を提出するために郵送ではなく直接手渡し、情報収集するよう出向いている。時には入居者と一緒に行くこともある。担当者に入居者の様子を伝えたり、相談などして連携を図っている。市内の認知症ケアアドバイザーの活動に参加し、認知症サポーター養成講座の講師を務めている。今後、事業所で認知症介護教室を実施することを検討している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	入居者の要望や意見は日常会話の中で聞いている。家族会はないが面会時に管理者、職員は声をかけ、気軽に話や相談などできるようコミュニケーションを図っている。要望や意見はミーティングで話し合い、対応できることは直に行きサービスの向上に努めている。苦情相談窓口については入居時に説明を行ない、意見箱も玄関に設置している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して6年が過ぎ地域とつながりながらの暮らしがかなりできるようになってきた。町内会に加入し地域行事(夏祭り・芋煮会など)に招待され積極的に参加している。地域の方から畑で野菜の収穫(里芋・大根など)に誘われたり、みかんや花など届けてくれる方もいる。ホーム主催の夏祭りには子どもから大人まで地域の方の参加が年々多くなり、最後の片付けまで手伝ってくれる方もいる。また、これを機会に子ども達が「こんにちは」とホームを訪れ、遊んだり、雑巾がけや窓拭きなど掃除をしてくれることもある。運営推進会議には地域包括支援センターの職員はじめ、いろいろな立場の方が参加し、2カ月ごとに開催している。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。